

JISA Awards2013 受賞記念講演会 ～サービス化とグローバル化の先進事例 開催



平成 25 年 5 月 8 日(水)、八重洲富士屋ホテルにて、「JISA Awards2013 受賞記念講演会～サービス化とグローバル化の先進事例」が約 60 名の参加者を得て開催された。

JISA は平成 24 年度、前年に引き続き独創性が高く国際的に通用するシステムの創造者を表彰する「JISA Awards 2013」を実施し、選考委員会（委員長：坂村 健氏（東京大学大学院情報学環 教授））において、「AToMsQube（クオリカ株式会社）」及び「倉庫「見える化」@web（ヤマトシステム開発株式会社）」の 2 件を Winner として選定した。本講演会は受賞を記念し開催されたものである。

冒頭、神山茂・副会長・広報・人材委員会委員長より挨拶があり、「海外に追随する時代には"理解者"がいればよかったが、いま世界で勝つためには"独創者"が日本をリードしなくてはならない」と述べた。

引き続き、坂村健・選考委員長（東京大学大学院情報学環 教授）より「国際的に通用する独創性を生かすために」と題する基調講演があった。坂村委員長は、日本人には独創性が足りないとしばしば言われるが、それは神話に過ぎ

ず、日本の問題は独創性を活かさないことであると指摘し、日本はなぜ独創性を活かさないのか、日本において独創性を活かすためには何が必要かを数多くの事例を紹介しながら説いた。なお、講演の詳細は JISA 会報No.110（平成 25 年 7 月刊行）に掲載予定。

後半は、Winner（受賞者）のクオリカ（株）及びヤマトシステム開発（株）より受賞システムについて、システムの概要とともに独創性と国際通用性、さらに発想の原点などについて説明があった。

また Finalist（最終選考対象者）についても、SCSK（株）からは応募システム「共同型不正検知サービス CARDSavior」について、新日鉄住金ソリューションズ（株）からは応募システム「hifive」について、それぞれ説明があった。

講演会終了後には情報交換会が行われ、引き続き、講演者及び参加者による活発な情報交流が行われた。

なお、JISA は平成 25 年度にも「JISA Awards2014」を実施する予定であり、会員各位には奮ってご応募をお願いしたい。

(田畑)

※選考結果等、詳細はプレスリリースを参照いただきたい。

<http://www.jisa.or.jp/pressrelease/20130109.html>